

自見先生からご寄稿いただきました

内閣府特命担当大臣

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



9月13日 第2次岸田第2次改造内閣発足



9月17日 大阪・関西万博について吉村洋文大阪府知事と横山英幸大阪市長との意見交換および夢洲会場視察



9月27日 対馬丸記念館を視察 沈没した対馬丸が発見された時、上皇陛下がお詠みになられた御製とともに



9月28日 沖縄県医師連盟役員の先生方と意見交換



9月28日 琉球大学医学部および附属病院を中核とする沖縄健康医療拠点（西普天間住宅地区跡地）の整備状況視察



10月12日 北海道根室の納沙布岬から北方領土を視察

松本吉郎委員長をはじめ日本医師連盟の先生方におかれましては、平素より温かいご理解とご支援を賜り誠に有難うございます。

この度の内閣改造において、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策、消費者及び食品安全、地方創生、アイヌ施策）、国際博覧会担当大臣として初入閣させていただきました。所管業務としては、この一年間内閣府大臣政務官としてお支えしてきた岡田直樹前内閣府特命担当大臣の担務を主に引き継ぐこととなります。本年五月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の五類となり、社会経済活動が再び動き出したタイミングでバトンを引き継ぐこととなりました。

昨年七月の参議院選挙で二度目の当選を果たしてから二年目にこのような大役を拝命することとなり、本当に身の引き締まる思いです。全国の医師会・医師連盟の先生方、職員の皆さま、関係者の皆さまのご指導とご支援の賜物と、感謝の念に堪えません。

人口減少、東京一極集中が進むなかで、いかにして地方創生を進めるのか、大きな使命と責任を感じています。これまでも全国を回って皆さまのお声を聴き、「医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連

盟」事務局長として医師偏在問題に取り組んだほか、本年四月に発足した子ども家庭庁も、行政の縦割り、自治体の横割り、子どもの年齢による年代割りなどを克服するため創設に取り組んできた政策です。医療・介護・福祉、子ども・子育て政策がユニバーサルサービスとしてあまねく国民に行き届き、そのうえでさらなる充実について自治体それぞれが独自に取り組めること

とがあるべき姿だと考えます。住んでいる地域によって格差が生じることがないように、これまでの社会保障政策での経験を活かして取り組んで参ります。二〇二五年に開催予定の大阪・関西万博も所管することになりました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博は、横倉義武元日本医師連盟委員長が世界医師会長在任中に誘致特使として尽力され、二〇一八年十一月に大阪誘致が決定した際、「人口の高齢化の問題は近い将来各国が共通して直面する大きな課題となる。この万博がわが国の健康長寿に向けた取り組みを広く世界にアピールする場となることを期待したい」と仰いました。そうした未来に希望を持つるメッセージの発信が、今まさに求められているのだと感じます。この四年弱、コロナ禍によりわが国の経済社会は大きな痛手を被りました。学校現場においては一斉休校やイベント休止、マスク生活や給食の黙食等によりコミュニケーションに壁ができて、不登校や自殺などこ

どもたちを巡る問題が深刻化しました。また、大学や専門学校での講義もオンラインになり、サークル活動もできず新生活で孤立し、さらにアルバイトができないことによる生活苦など若者にも大変苦しい思いがありました。経済的・社会的不安のための「産み控え」による出生数低下も人口減少に拍車を掛けました。中小企業にも多大な負担がありまして。そうした困難を乗り越えた新時代の幕開けの象徴として大阪・関西万博を成功させたいと、強い想いを抱いております。

沖縄及び北方対策も、かつてなく緊張感が高まっている政策分野の一つです。東シナ海において中国の軍事的拡張が続き、尖閣諸島（沖縄県石垣市）周辺海域の不安定化や台湾有事の懸念もあるなか、基地負担軽減や

経済振興、離島のインフラ整備などはよりいっそう力強く取り組まなければなりません。北方においても、わが国固有の領土である国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島を不法占拠するロシアが二〇二二年二月からウクライナへの侵略を続けているなど、予断を許さない状況です。難しい局面でバトンを引き継ぎましたが、国際社会との連携のもとでわが国の主権と平和を守るため力を尽くす決意です。

消費者及び食品安全についても、健康食品や補聴器等の医療機器、美容関係の広告など医療との関係でさまざまな問題があり、取り組んできた分野です。ベビー用品やライフジャケット、サッカーゴールなど、ごどもの事故予防との関係でも重要な分野です。アイヌ施策も、これまで大臣政務官として所管して参りましたが、大臣というより大きな責任のもとで取り組んでいかなければなりません。これら多岐にわたる所管に全身全霊で取り組んで参る決意ですが、未だ若輩、未熟ゆえに、これからもさまざまな場面で先生方のお力添えをいただかなければならないと存じます。よりいっそうの温かいご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。初任のご挨拶とさせていただきます。



9月23日 秋季皇霊祭および秋季神殿祭の儀に参列